

平成23年度決算に対する

各会派の意見表明・討論

平成23年度一般会計ほか、5特別会計決算を審査するため、今定例会初日に議長を除く全議員により、決算特別委員会(委員長 吉田ゆりこ、副委員長 橋本けいこ)を設置し、11日間にわたり慎重かつ厳正な審査を行いました。各会派から出された意見表明・討論の要旨は、次のとおりです。

厳しい財政下でも区民福祉策の維持向上を 練馬区議会自由民主党(16人)

平成23年度練馬区一般会計および5特別会計の歳入歳出決算について、認定に賛成の立場から意見表明を行う。平成23年度の普通会計の決算状況をみると、長引く景気の低迷により生活保護費などの義務的経費が増加したことから経常収支比率が更に悪化する傾向にある。

また、現下の社会経済情勢は、欧州や中国など海外経済への不安感や国内におけるデフレの進行、国策の停滞などから極めて不透明な状況にあり、区財政は厳しい状況が当面続くものと思われる。しかしながら、区民の生活環境を維持向上するため、更なる行政改革の推進および財政の健全化の確保、区民福祉の向上、区内産業の振興、教育の充実を図るべきとの観点から、以下具体的に要望する。【議会費・総務費】①過去2回作成された「財政白書」、福祉分野の「グリーンペーパー」を作成し、区民へのわか

区内業者を最優先に。

【保健福祉費】①予防接種施策の更なる推進を。②高齢者の結核感染発見の遅れ防止対策を関係機関と連携し、更なる推進を。③マイコプラズマ肺炎流行状況の監視体制を、医師会や薬剤師会などと連携を強化し、健康被害を最小限に。④病床の確保に向けた施策の強力な推進を。⑤増大する現役世代の生活保護受給者の就労による自立支援の徹底、強化を。

【児童青少年費・環境清掃費】①保育所運営における公私格差の是正に努力を。②家庭における保育の充実を図るため、「一時預り」や「びよびよ」などの支援事業の充実を。③ねりまキッズ安心メールのひろば事業への適用を。④「みどりのカーテン事業」は、農家でのゴーヤ苗育成と区民への無料配布等コミュニティと練馬らしさを生かしたものに。

【都市整備費・土木費】①西武新宿線の連続立体交差事業に積極的に取り組み、井荻から東伏見間の、いわゆる練馬区間が、中井・野方面の次に都市計画決定されるような努力を。②外環の整備を進める中で、青梅街道インターチェンジ設置に関して国が先頭に立つて、具体的な対応をするように強く要請を。③地下鉄大江戸線大泉学園町通りまでの延伸については、平成27年に整備着手路線から、開業すべき路線に格上げした計画を見据えた延伸活動に。④大泉

学園駅北口再開発にあたっては、周辺住民への情報提供を図るとともに、工事車両が影響する周辺交通の安全性に十分な配慮を。⑤練馬区らしい緑あふれる田園風景を生かした公園の充実を。

【教育費】①2学期制を3学期制に戻されたい。②緊急一斉メール導入の来年度予算化を。③武道必修化が実施される中、武道の精神・礼法等を指導するためには剣道・柔道専門家の活用を。④運動部の部活動を継続するため、顧問の先生を確保する方策の検討を。⑤仮称「ねりまシテイマラソン」を早期に実施するためにも、町会、商店会など地元

の諸団体を含めた実行委員会の核となる準備会の早急な立ち上げを。⑥児童生徒のいじめに関わる大人は、教職員やカウンセラー、相談員に限らない。学校という狭い範囲でなく、子どもに関わる施設、児童クラブ、学校応援団、校庭開放などあらゆる大人が連携し総合的な対策を構築し、いじめの減少を。

【公債費・歳入・特別会計】①公共施設予約システムは、使いやすく見やすいものに。②光が丘に恒久的な駐輪場の整備を。③耐震化促進事業の積極的な推進を。その際の助成対象は、柔軟に対応を。④大地震に見舞われた時の練馬区の速やかな復興を図るため、遅れている地籍調査の強力な推進を。⑤介護予防事業は、40・50代にも拡大して実施を。

【区民費・産業地域振興費】①コンビニエンスストア等で証明書の交付を。②運転免許証自主返納者に住基カードの無料発行を。③大泉北出張所のバリアフリー化等の大規模改修を平成26年度までに完了を。④東映通りにアニメのモニメント設置を。⑤区公式HPのトップページに農業のパナーの設定を。⑥ねりまキヤベツのブランド化を。

景気対策に全力一区民の暮らしを守ります 練馬区議会公明党(12人)

平成23年度一般会計・5特別会計歳入歳出決算について、賛成の立場から意見表明をする。基礎的自治体として、区民の生活を守るため、経営努力が必要。財政の健全性を維持し、財源の確保に努めるとともに、引き続き行財政改革を推進するなかで、なお一層の効率的、効果的な財政運営に取り組みされる事を要望する。【議会費・総務費】①練馬駅北口建物に同居予定の産業団体等の家賃免除・減免を。②住宅手当の廃止を。③職員の不祥事が多い。挨拶から改善を。④防災会の組織強化を。⑤各駅に帰宅困難者支援ステーションの誘導案内を設置を。⑥避難拠点備蓄庫は、女性に配慮した女性専用トイレ等の配備を。⑦避難拠点に大型発電機、福祉避難所に発電機の配備を。⑧啓開34路線沿いの住宅の耐震補強を。⑨小中学生にホイッスルの配布を。

【区民費・産業地域振興費】①まちづくり協議会等に地域の専門家も参加、商店街活性化、災害に強いまちづくりの進展を。②有楽町線の区内急行通過駅に急行の停車を。③耐震化促進改修工事の助成対象基準の緩和と補助金の増額を。④橋梁の長寿命化修繕は、区内業者の活用を。⑤練馬区道路通称名設定要綱と道路通称名選定基準の策定を。⑥通学路の安全の取り組みを。⑦街路灯の省エネ化を。⑧自転車ナンバプレート検討を。

【教育費】①区立幼稚園・小中学校に緊急時一斉メールの導入を。②区立小中学校の2学期制の検証を。③道徳の授業に法教育の導入を。④学校のいじめに、第三者の相談窓口設置を。⑤区立小中学校の特別教室にエアコンの設置を。⑥廃園後3園の区立幼稚園で障害児受け入れ枠増員を。⑦私立幼稚園の障害児受け入れ数の増加を。⑧美術の森緑地の芝生化を。⑨うどん店と連携し、練馬の伝統的食文化の地域づくりと武蔵野うどんの金設定を半額に。

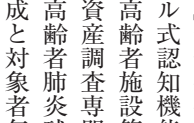
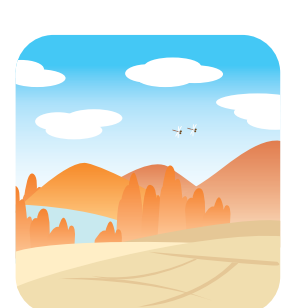
【保健福祉費】①タッチパネル式認知機能評価システムの高齢者施設等への設置を。②資産調査専門員の増員を。③高齢者肺炎球菌ワクチンの助成と対象者年齢の拡充を。④

「選択と集中」による施策の更なる充実を 練馬区議会民主党・無所属クラブ(5人)

行政評価の進展と適切な予算執行を評価し各会計決算を認定。①帰宅困難者対策は関係団体の意見を取り入れ検討を。②体育館が2階の避難拠点にスロープなどの設備対策を。③災害時協力協定の対策検討を実施を。④総合的な避難訓練実施を。⑤実効性のある商店街振興策の拡充を。⑥チェーン店などに対し商店会加入促進を。⑦地産地消の物流システムの構築を。⑧屋内喫煙室設置助成希望者には引き続き対応を。⑨各種健康診査の受診率向上を。⑩要精密検査者の受診率向上と追跡調査を。⑪前立腺がん検診、肺炎球菌ワクチンの対象年齢拡大を。⑫災害時要援護者名簿の活用方法の明確化を。⑬障害者対応のため登録票の見直しと安否確認システムの構築を。⑭在宅療養患者の災害時対応の充実を。⑮自殺未遂者対策の強化を。⑯保護司の活動環境改善を。⑰子育てスタート応援券の対象年齢とサービスの拡大を。⑱成人の日の集いの在り方の検討を。⑲樹木の保存も含め、みどり30の達成を。⑳みどりバスの定期

的なニーズ調査と南大泉ルートの新宿線への早期延伸を。⑳交通空白改善計画実施に向けた道路幅員課題解決を。㉑大江戸線延伸の早期実現を。㉒車道における自転車走行環境の整備を。㉓民意が反映されるまちづくり施策の実施を。㉔高齢者が教育現場でも活躍できる場を。㉕給食、行政施設に地場産農作物の積極的使用を。㉖毎日給食の残測定を。㉗給食時間延長の研究を。㉘仮称ねりまシテイマラソンに向け地域活性化や経済効果の検証を。㉙球技可能な屋外施設設置を。㉚バリアフリー設置条例の事前協議には丁寧な対応を。㉛地域包括ケアシステムは医師会と連携し早急な体制づくりを。㉜特定健康診査、特定保健指導の実施率向上を。㉝多額の不用額は他施策を阻害。適正な執行を。

【公債費・諸支出金・予備費・一般会計歳入・各特別会計】①体育館空白地域の新たな解決策を。②区内事業者の相談窓口設置を。③転出者の「ふるさと納税」を。④ジェネリック医薬品希望カードの更なる活用を。⑤禁煙補助剤の費用助成の継続を。⑥「しっかり」かんで元気応援教室」の料金設定を半額に。



※2 マル経融資：小規模事業者経営改善資金融資。  
※3 インキュベーション施設：創業間もない企業等に対して、低賃料でスペースを提供し、専門スタッフがアドバイザー等を行い、独立を支援する施設。

※4 啓開34路線：地震発生時に閉塞を防ぐべき道路として、練馬区地域防災計画に位置づけられる緊急道路障害除去路線。



決算特別委員会

区民参加を広げるために積極的な情報公開を生活者ネット・市民の声・ふくしフォーラム(5人)

区立施設法令違反による調査は無駄使い。情報公開の徹底、住民尊重のまちづくりを。年少扶養控除廃止増収分16億円を子育て世帯に還元せよ。①指定管理者の労働環境は情報開示させ改善せよ。②男性職員が育児休暇を取りやすくする工夫を。③社協と早急に協議し、災害時ボランティアセンター対応の整理を。④練馬区地域防災計画にも放射能対策を位置づけよ。⑤関越高架下計画は頓挫。高齢者・リサイクル両センターは別の場所。⑥西武新宿線沿線等に区民事務所を増やし、練馬一極集中を解消せよ。⑦地域コミュニティ活性化プログラムで自治の育成、区民の自主的

活動の支援を。⑧高齢者虐待防止には地域包括支援センター本所の専門職増員、マニュアルの改善を。⑨練馬光が丘病院の産科医師・助産師体制の充実を。⑩5病院構想を見直し、西部地域の200床規模病院は回復リハビリ・療養と救急医療を有する総合的な病院に。⑪障がい者雇用を総合評価入札の項目に加え、就労支援の充実を。グループホーム等は障がいの程度や種類に応じた計画・進捗管理を。⑫児童館中高生の居場所を全17館に広げ、いじめ対策にも活用を。⑬代替補助員や短期特例保育を改善し、家庭福祉員の負担軽減を。⑭災害廃棄物の受け入れを中止し、アスベス

住民福祉の機関としての区政に立ち返れ！

日本共産党練馬区議団(4人)

一般会計、国保会計、介護保険会計、後期高齢者医療会計の4決算に反対する。反対理由の第一は、防災や医療、福祉などの基盤強化という東日本大震災や原発事故の教訓を生かしていないこと。第二は、国の悪政言いなりで、憲法25条で保障された生存権を奪いかねない区政であること。第三は、大泉駅前開発や、土支田区画整理、都市計画道路

①労働環境改善のため公契約条例制定を。②関越高架下利用は白紙に戻せ。③出張所の廃止はやめよ。④区内病床確保に力尽くせ。⑤高齢者などへ空調機設置や電気代の補助を。⑥過重労働解消のため職員の増員を。⑦区施設の障害者用音声対応パソコンなど更新を。⑧特養ホーム新増設を。⑨保育園、児童の新増設を。⑩放射能除去は民有地含め区が除染を。⑪太陽光発電設置補助の拡充を。⑫外環とその2は中止せよ。⑬住宅リフォーム助成の実施を。⑭少人数学級の推進を。⑮国保、介護、後期高齢者保険料の軽減を。

区民生活を守る自治体本来の区政に転換せよ

練馬区議会護憲連合(1人)

11年度一般会計、国保、介護、後期高齢者医療の計4会計決算の認定に反対する。理由の第一は、区民生活防衛をおざなりにしている。第二は、住民自治を否定する行政による独断専行が際立っている。第三は、安上がり目的の委託・民営化で福祉と住民サービス、民営化で福祉と住民サー

①区役所議会棟の区民貸し出しを検討願いたい。②職員寮のコストについて精査頂きたい。③区職員の残業代について注目を払われたい。④経済施策はコストと効果に見の方法を検討されたい。⑤障害者の為に特例子会社を誘致されたい。⑥保育園新設と現金支給についてニーズを検討されたい。

区政は違法、利権癒着、腐敗化？区長無発言

オンブズマン練馬(1人)

区長は光が丘病院選定での虚偽発言や50億円貸付保証金返還訴訟の醜い金の争いなど無策を露呈。区施設631棟建築違反事件は自治体運営上の重大事件だ。過去の職員による事件ではない。区長は当時土木部で深く区政に関与し不正を熟知、明確な責任を。区事業の安直な委託化は区職員や

区政全般に悪影響。現状の委託事業権審査では事業者が権利継続のため不正手段を用い行政上癒着や腐敗を生む恐れがある。法令遵守は行政上絶対必要条件だが、最近の区職員懲戒事件を見れば不可能か外環、新病院や高齢者センター、大泉第二中分計計画等区政の不正監視が重要だ。

「みんなが笑顔」のまちづくりを！

練馬区議会みんなの党(3人)

平成23年度各会計に賛成。【議会費・総務費】①ペーパーレス化に努められたい。②都のしまえん買収については、継続的に情報収集を。③職員の退職金は民間水準に是正を。【区民費・産業地域振興費】①美術館にアニメ展示の拡大を。②オリジナルナンバープレートの継続を。【保健福祉費】①厚生保護サポートセンターの設置を。②光が丘新病院の医療水準の向上を。【児童青少年費・環境清掃費】

①待機児童解消を。②会派提案のPPS活用による電力入札は評価。③電力入札の評価を行い、適用施設の拡大を。【都市整備費・土木費】①景観保持、歩行者道確保のため電柱の地中化を。②子供たちが、思い切り遊べる空間の確保を。【教育費】①通学路の交通安全を。②電子図書などを活用したICT教育の推進を。【一般会計歳入・特別会計】制度改正を踏まえ、区有財産の効果的な運用を。

ゼロベース予算の導入を

練馬区議会無所属(1人)

平成23年度一般会計および各特別会計の歳入歳出決算について、認定に賛成の立場から意見表明を行う。①企業会計手法を生かした決算分析の精緻化を。②観光案内所など観光施策の優先順位の見直しを。③生活保護世帯に対する就労支援の強化を。④認可保育所の運営に際し、民間企業の積極参入を促すべき。⑤遠隔医療・電子カルテの導入など、区内医療機関の電子化の推進を。

福祉の膨張が、将来の負担増

練馬刷新の会(1人)

平成23年度一般会計および各特別会計の歳入歳出決算について賛成。しかし、福祉が膨張している。平成23年度一般会計および各特別会計の歳入歳出決算に賛成。しかし、福祉が膨張している。①区役所議会棟の区民貸し出しを検討願いたい。

平成23年度決算に対する各会派の態度

Table with columns for party names (自民党, 公明党, 民主無所属, etc.) and budget items (一般会計, 国民健康保険事業, etc.), showing approval (O) or opposition (X) status.

議会Q&A

Q 決算の認定とはどういうことですか? A 予算が一会計年度における収入、支出の見積もりであるのに対し、決算は、収入、支出の実績であり、結果です。決算の認定とは、予算がどのように使われて、どのような成果をあげたかを住民の立場に立って審議し、判定することです。これは、予算の議決権に対応する議会の大事な権限でもあります。議会が不認定としても法的にはその効力に影響はありません。ただし、地方自治法の規定により、区長は都知事に報告するとともに、住民に議会が認定しなかった旨を公表する必要があります。